

## サービスホールからのお知らせ

### 部分休館のお知らせ

発電所安全対策工事により停電となるため、サービスホールが部分休館となります。

部分休館日：**8月11日(日)**

- ◆ご利用できるもの：発電所構内ガイドツアー、工作教室、エネルギー教室
- ◆ご利用できないもの：展示館のご見学・キッズルームのご利用  
ご迷惑をお掛けしますがよろしくお願いします。

### お盆期間のイベントのお知らせ

#### ★サービスホール説明会（お申し込みは不要）

発電所の現状に関する説明会をサービスホールにて開催します。  
ご希望の方は自由にご参加ください。

【開催日時】

**8月13日(火)、14日(水)、15日(木)**  
①11:00～12:00 ②13:00～14:00

#### ★発電所構内シャトルバス（当日お申し込みが必要）

発電所の安全対策の実施状況を多くの方にご覧いただけるよう、サービスホール発着の発電所構内見学会を開催しています。ぜひご参加ください。

【開催日時】

**8月12日(月)、13日(火)、14日(水)、15日(木)、16日(金)**  
①10:30～11:10 ②12:10～12:50 ③14:30～15:10 ④15:30～16:10

【参加方法】 各便出発の30分前までに受付をお済ませください

【お願い事項】 当日ご本人確認を行いますので、運転免許証もしくは  
住民基本台帳カード（顔写真付）をご提示ください。

【お問い合わせ】 サービスホール ☎0120-34-4053（9:00～17:00）

(おひらき)

みなさまの声を聞かせください  
1. 「放射線」について、ご質問がございましたら、  
お聞かせください。

2. 発電所に対して、その他ご意見・ご質問が  
ございましたら、お聞かせください。

ご協力ありがとうございます

みなさまからの  
様々なご疑問に  
本紙でお答えさ  
せていただきます。  
日頃から疑問に  
思っていること  
やご意見をお  
寄せください。

2013年8月10日発行（H25-R-4）  
編集発行責任者  
柏崎刈羽原子力発電所広報部  
企画広報グループマネージャー  
〒945-8601 柏崎市青山町16番地46  
☎0120-120-448（平日9～17時）

news  
atom  
ニュースアトム

地域とともに  
東京電力  
TEPCO  
柏崎刈羽原子力発電所

2013年8月

## 発電所ニュース

### 緊急時の初動対応力の向上に取り組んでいます



電源ケーブルの敷設訓練



緊急用照明装置の点検



緊急用記録装置の操作訓練

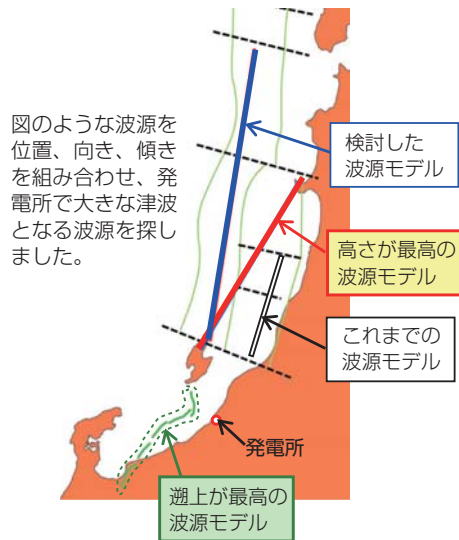


緊急用車両の点検

- ◆福島第一原子力発電所の事故の教訓から、万一の事故の際に弊社社員が初動対応できる必要があります。
- ◆このため、弊社社員が安全対策機器の取り扱いや保守技術を身に付け、機器が壊れた場合でも対応できる技術力を習得することを目指しています。

## みなさまの声にお答えします

- Q. 発電所の津波の想定は、どのように考えて6mにしたのですか？  
A. 新規制基準の考え方をふまえ、より安全側に評価しました。



従来の津波の想定は、3.3mでしたが、新規制基準の考え方を踏まえ、主に以下の点を変更して検討しました。

- ・断層の連動を、安全側に評価しました。
- ・海底の地すべりによる津波も検討しました。
- ・地震による津波と、海底地すべりによる津波の同時発生を検討を行いました。

その結果、左図の赤い線の波源（長さ230km、マグニチュード8.4）から来る津波が最高となり、その高さは発電所の前面で6mとなります。

また、左図の緑の線の波源（長さ160km、マグニチュード8.0）から来る津波が遡上としては最高となり、その高さは発電所の敷地南東部で局所的に8.5mとなります。

なお、発電所では敷地の海側に海抜約15mの防潮堤を作っています。

- Q. 防潮堤ができ上がったので、他の安全対策はおそろかになりませんか？  
A. 今後も継続的に安全性の向上に努めてまいります。



1～4号機側防潮堤



5～7号機側防潮堤

防潮堤の本体が完成しましたが、津波対策としては、原子炉建屋の周りに「防潮壁」を設置し、さらに重要区画の浸水防止対策も実施しています。

その他の安全対策についても、「多重性」や「位置的分散」を考慮しながら、継続的に実施してまいります。



防潮壁

水密扉

## 【シリーズ】放射線のはなし⑬

### ～放射線の監視～

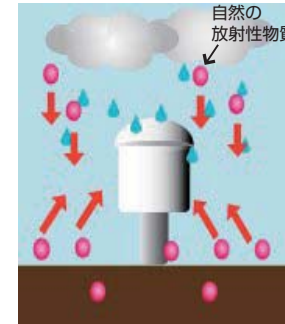
- ◆発電所では、敷地の境に設置した9個のモニタリングポストで、放射線の量を常時監視しており、ホームページでも公開しています。

<http://www.tepco.co.jp/kk-np/monitoring/mp-j.html>

- ◆通常の値は、空気中や大地などからの自然の放射線によるもので、およそ30～40ナノグレイ/時です。
- ◆雨が降ると、空気中の自然の放射性物質が雨と一緒に地面にたまり、放射線の量が多くなり、およそ40～160ナノグレイ/時になります。また、雪が積もると大地からの放射線が遮られ、10ナノグレイ/時程度まで低くなることもあります。
- ◆福島第一原子力発電所では事故の後、電源がなくなりモニタリングポストによる放射線量の把握が出来なくなりました。このため、柏崎刈羽原子力発電所では、専用の代替交流電源を設置したほか、モニタリングポストが機能喪失しても十分な台数の放射能観測車と放射線サーベイ機器を備えています。



モニタリングポスト



雨による放射性物質の降下



放射能観測車

### お詫びと訂正

- 6月26日発行のNewsアトムの「2.断層の活動の痕跡は？」の図の記載に一部誤記がありました。正しい図は発電所ホームページに掲載しております。お詫びして訂正いたします。



お電話番号  
ご記入いただきました個人情報については、質問などへの回答、紙面づくりの参考以外では使用いたしません。

(2013年8月号)

お名前

年齢

性別

ご住所

差し支えなければご記入ください

(横書き)



94587904

柏崎支店  
承認  
16

東京電力株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所  
広報部 行  
(柏崎支店私書箱53号)

料金を取戻し郵便

郵便はがき  
9458790